

都市計画マスタープラン 地域別懇談会（地域3）

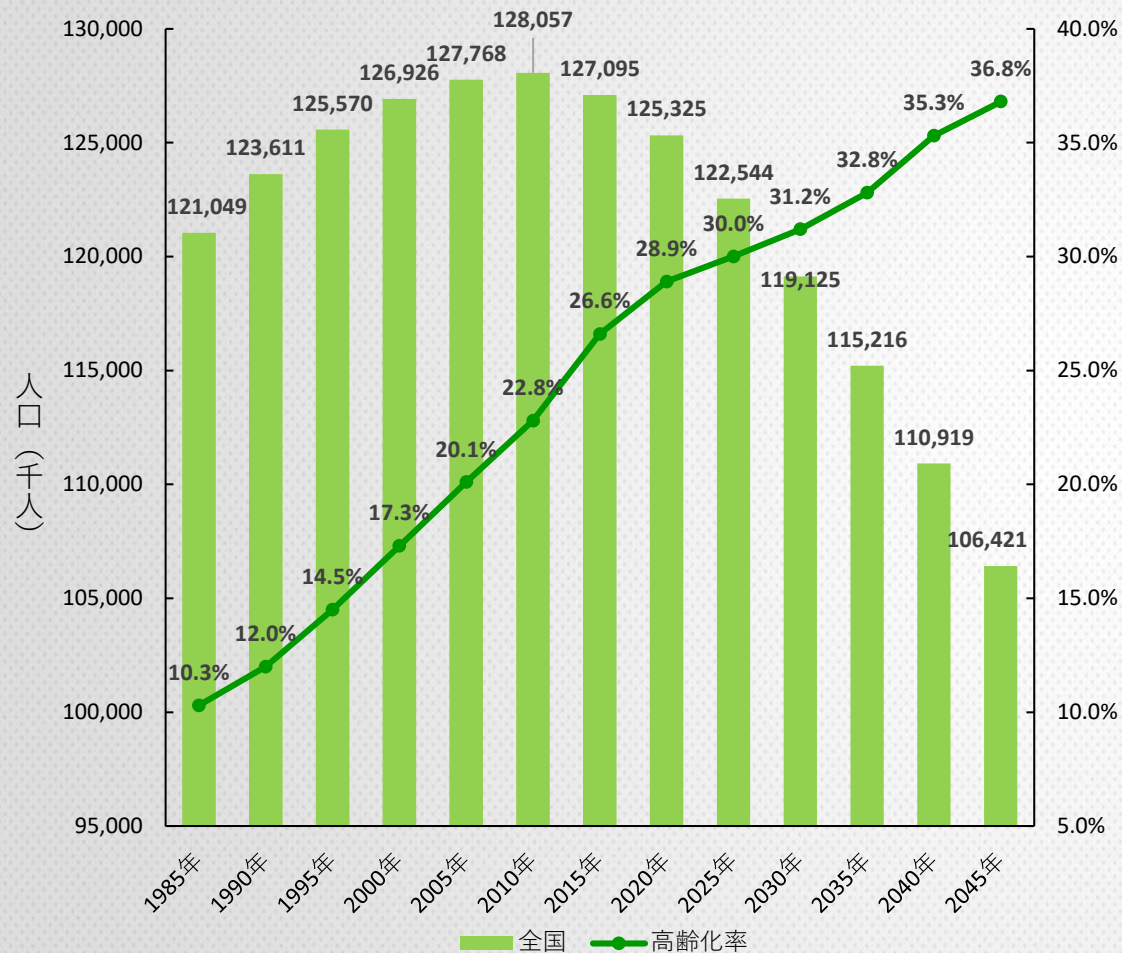
令和4年1月22日（土） 15:00～ 16:30

場所 基山町保健センター

基山町定住促進課



①日本の人口減少



出典：国勢調査、
国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口（平成25年3月推計）」

- 2015年の国勢調査の結果、調査開始以来はじめて**日本の人口が減少**。
- 今後も人口減少が続く見込み。

図1 全国の総人口推移



【人口減少によって起こる問題】

店舗等の撤退

公共交通の撤退

税収の減少

まちなかの
人通りの減少

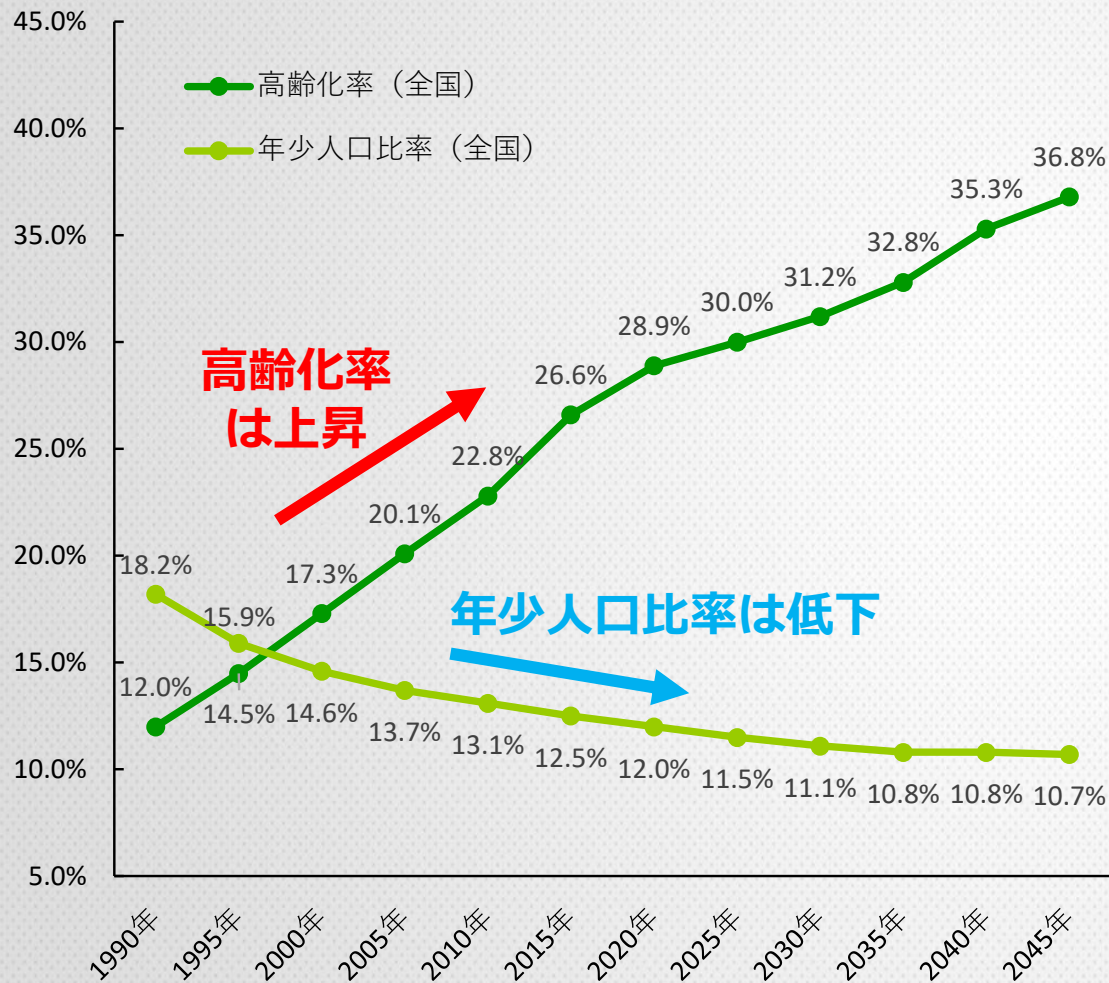
地域コミュニティ
の機能低下

空き家・空き地
の増加

耕作放棄地
の増加



②日本の高齢化



出典：国勢調査、
国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口（平成25年3月推計）」

- 日本の**高齢化率**は年々**上昇**。
- 2040年には、10人に3～4人が高齢者となる見込み。（年少人口は10人に1人）

図2 全国の高齢化率と年少人口割合の推移



【高齢化によって起こる問題】

介護負担の
増大

社会保障費
の増大

働き手の減少

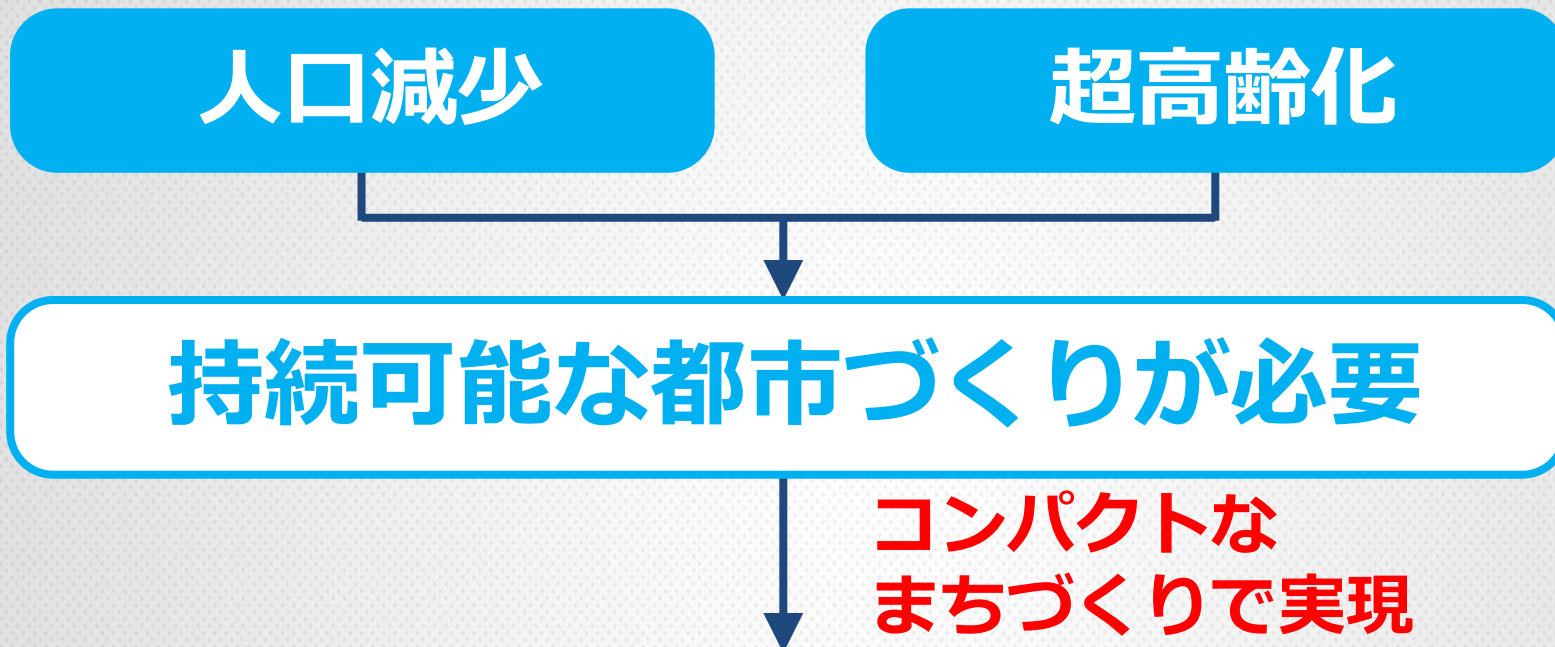
現役世代の
負担増

地域活力の低下

交通弱者・
買物困難者の増加



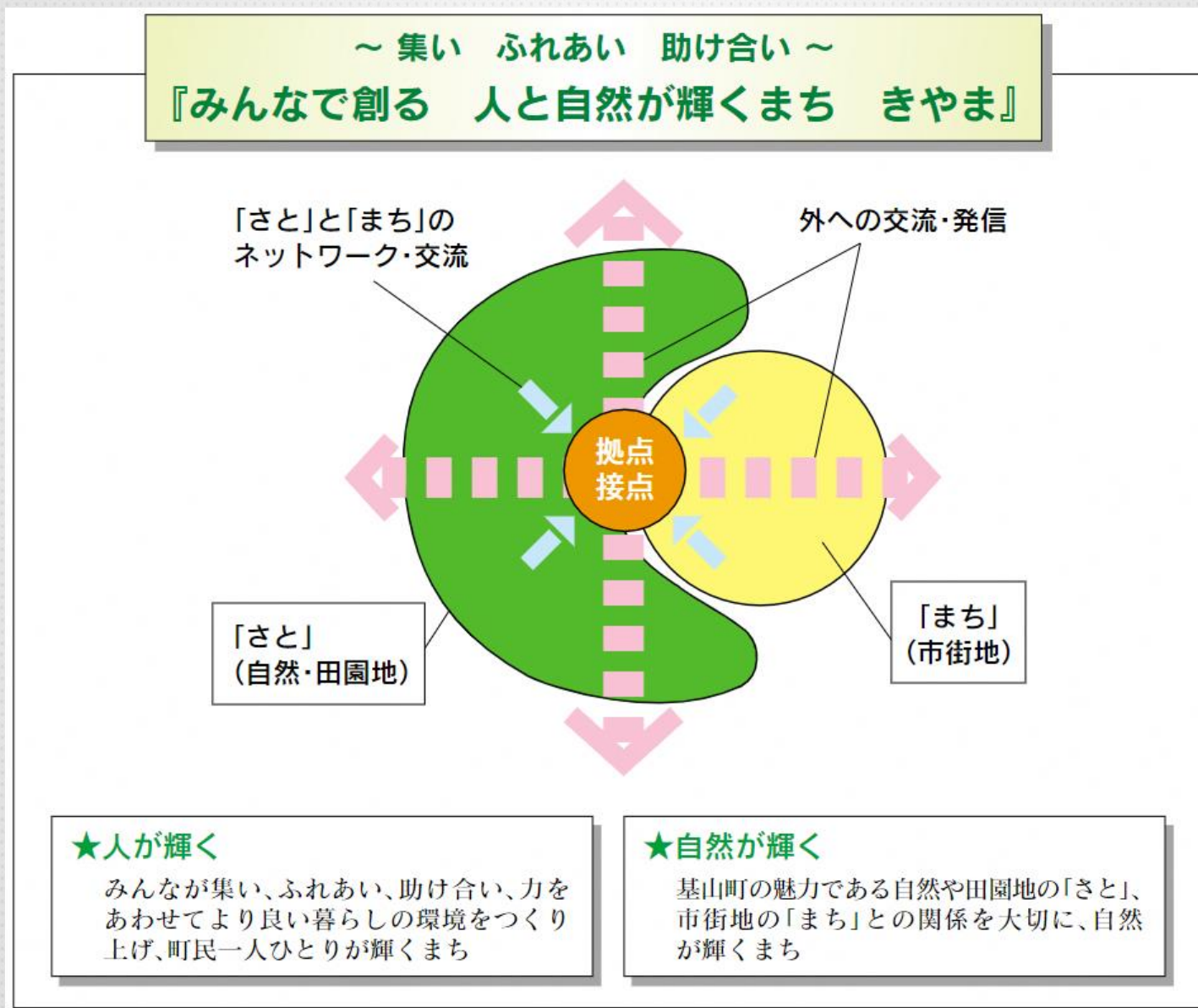
②コンパクトシティの必要性



- 身近な場所に日常生活に必要な施設が立地した、誰にとっても暮らしやすいまち
- 各種施設や公共交通の維持が可能な人口密度が保たれたまち



① 基山町都市計画マスタープラン（平成18年9月策定）

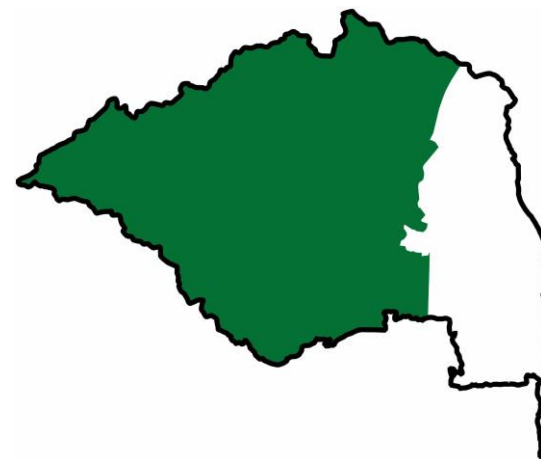


①基山町都市計画マスタープラン（平成18年9月策定）

【地域3としての方針（地域づくりの目標）】

自然とふれあい歴史を感じるのどかな集落環境の形成

- 1) 農地を守り活用するまちづくり
- 2) 伝統と文化を守り伝えるまちづくり
- 3) 水と緑につつまれふれあうまちづくり
- 4) 自然と歴史を巡るネットワークづくり
- 5) 住みたくなる集落環境づくり



① 基山町都市計画マスタープラン（平成18年9月策定）

【地域3としての方針（整備方針）】

【荒穂神社・大興善寺・宝満神社周辺】

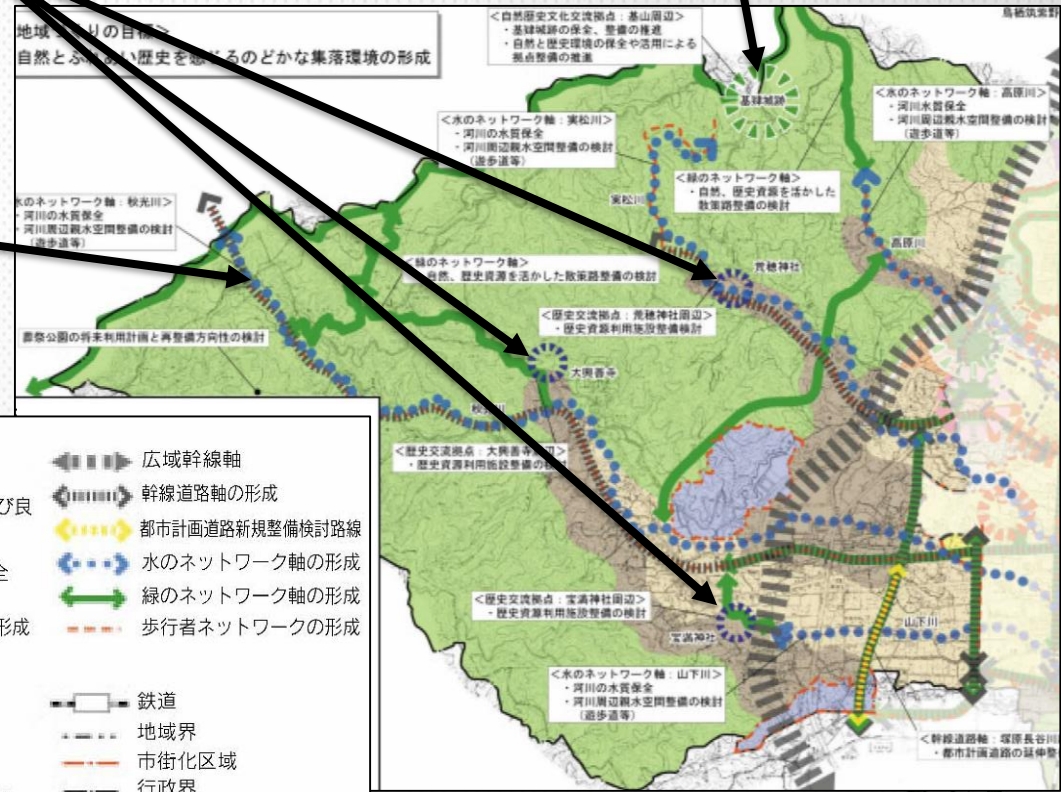
- ・ 歴史資源利用施設の整備検討

【高原川・実松川・秋光川・山下川沿岸】

- ・ 水質保全

【基山周辺】

- ・ 基肄城跡保全
- ・ 歴史環境保全



－ 凡 例 －

	山林の保全		広域幹線軸
	集落地の活力の維持及び良好な居住環境の形成		幹線道路軸の形成
	良好な農地環境の保全		都市計画道路新規整備検討路線
	良好な流通・工業地の形成		水ネットワーク軸の形成
	生活交流拠点の形成		緑ネットワーク軸の形成
	地域拠点の形成		歩行者ネットワークの形成
	自然歴史交流拠点の形成		鉄道
	歴史交流拠点の形成		地域界
			市街化区域
			行政界

②都市計画マスタープラン策定後の主な動き

【基山町中心市街地活性化基本計画の策定（平成30年4月）】

中心市街地
における
まちづくり
方針

基山町中心市街地活性化基本計画



〔活性化の目標（全体テーマ）〕

寄ってみよう 歩いてみよう 住んでみよう
“ちょっとよい”が好循環を生み出すまちなかの実現

基本的な方針

回遊や交流が生まれにぎわいあふれる中心市街地づくり

町民の日常生活を支える便利で暮らしやすい中心市街地づくり

一歩足を伸ばしたくなる魅力あふれる中心市街地づくり



②都市計画マスタープラン策定後の主な動き

【基山町歴史的風致維持向上計画の策定（平成30年4月）】

歴史資源を
活かした
まちづくり
方針

歴史的風致の維持向上に関する方針

歴史的な建造物の保存・活用に関する方針

- ・ 民間活力を活用した支援策
- ・ 活用策、維持管理策の模索、導入

歴史的な建造物を取り巻く周辺環境の保全に関する方針

- ・ 歴史的建造物と調和した道路、河川等の整備
- ・ 景観計画の策定検討

伝統行事や伝統文化、並びに史跡の継承に関する方針

- ・ 祭事等の継承支援、担い手育成、伝統芸能に関する道具新調支援

歴史的風致に対する認識向上に関する方針

- ・ 文化遺産情報の発信
- ・ 町民参画型の人材養成



②都市計画マスタープラン策定後の主な動き

【立地適正化計画の策定（令和3年3月）】

人口減少下における
まちづくり方針

基本理念

コンパクトで持続可能なトカイナカ 基山町

まちづくりの方針

拠点エリアへの都市機能誘導

利便性の高い箇所への人口誘導、安全性の強化

公共交通を利用しながら歩いて健康的に暮らせるまちづくり

➡ 人口減少を見据えた移住定住施策の推進が必要



アンケート調査について

実施期間：2021年9月1日～9月17日

実施方法：本町在住の15歳以上の方から1,850人を
無作為に抽出し、調査票を郵送
その他、webにおいても調査を実施

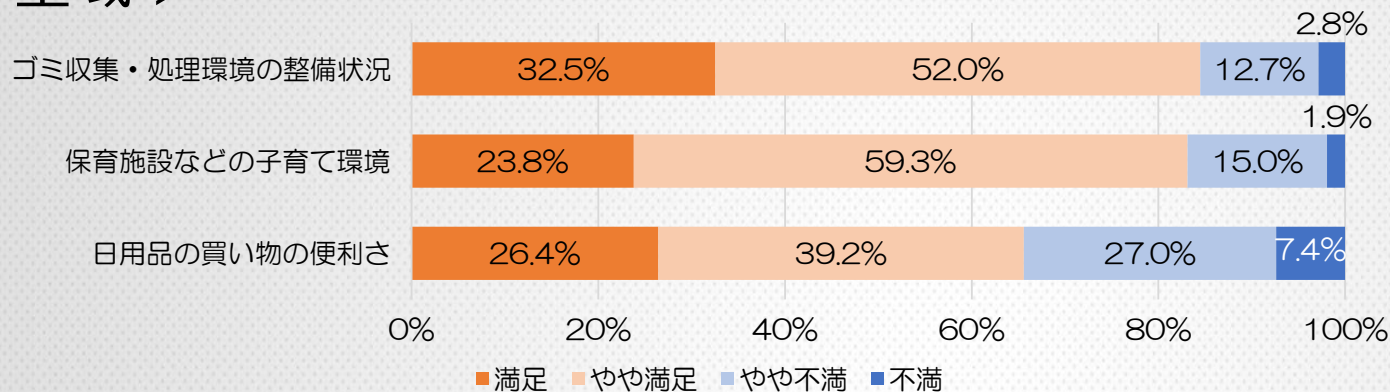
回収数：（紙面版）777名/1,850名（回収率：46.8%）
（web版）91名

ご協力ありがとうございました

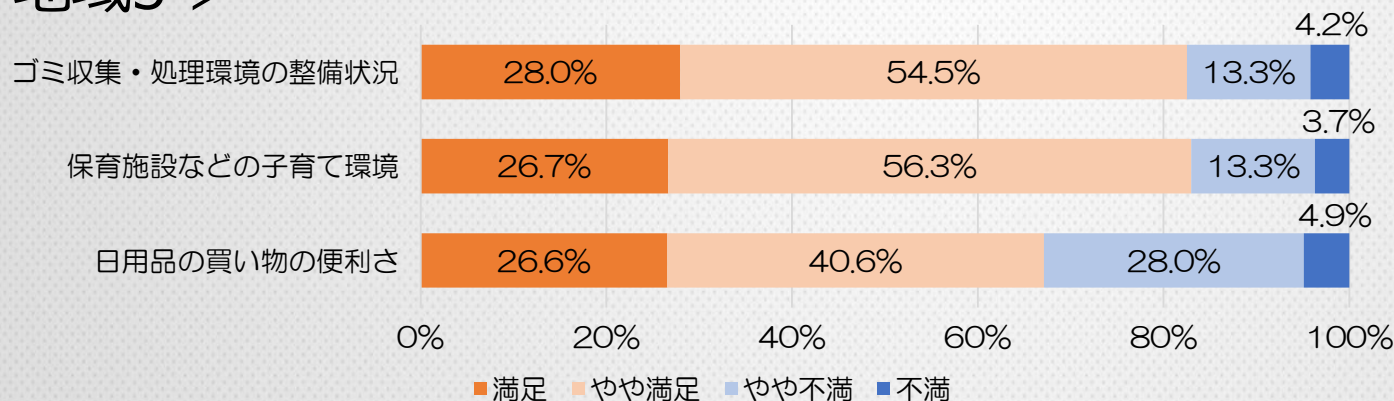


地域3において満足度の高かった指標

< 全域 >



< 地域3 >

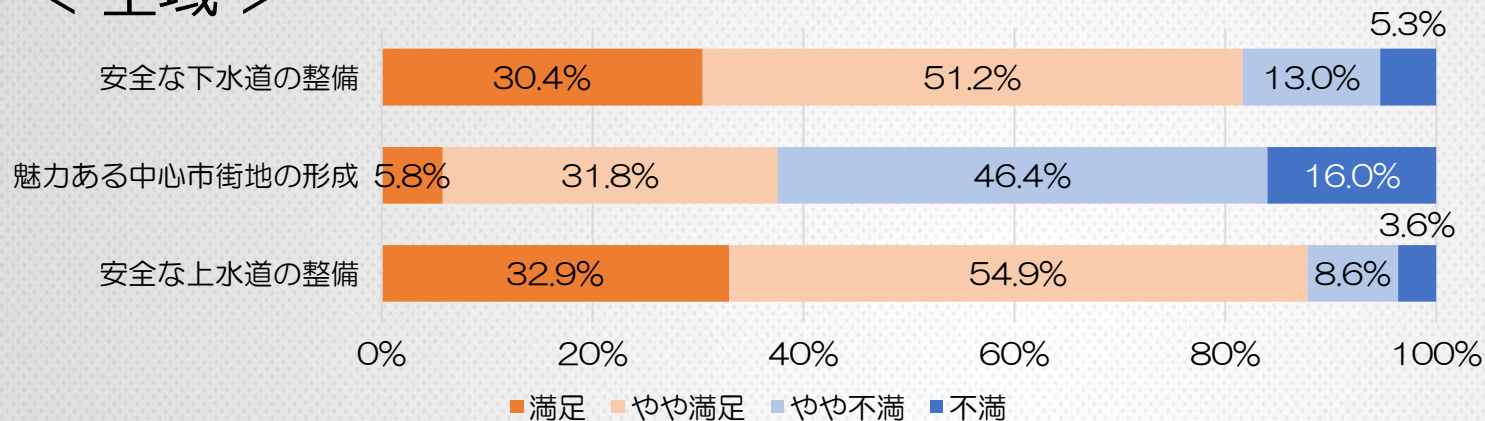


町内全域と比較して、大きな差はみられない

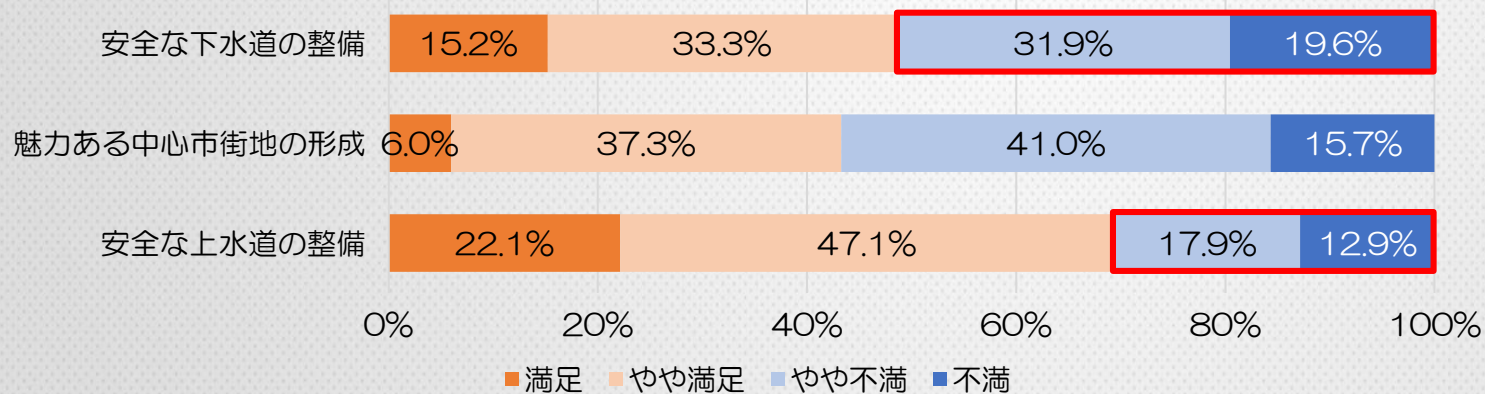


地域3において満足度の低かった指標

< 全域 >



< 地域3 >

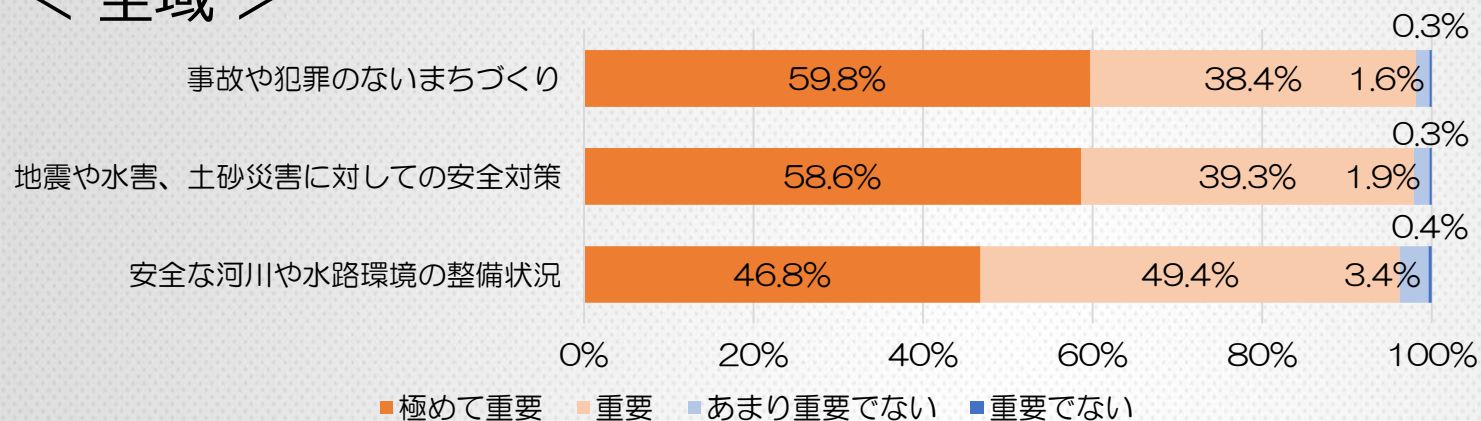


町内全域よりも
「安全な下水道の整備」「安全な上水道の整備」について不満に思っている人が多い

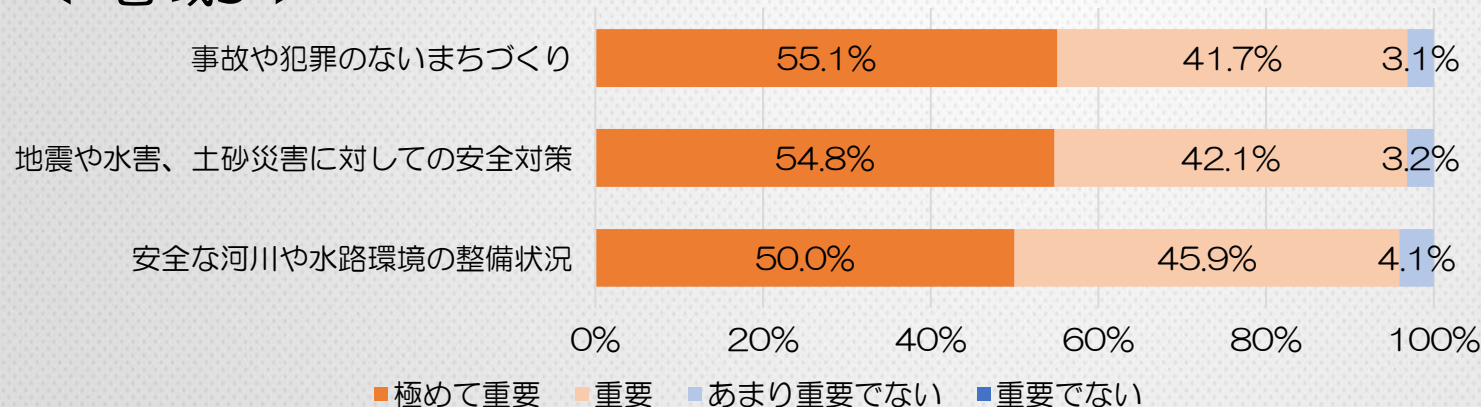


地域3において重要度の高かった指標

< 全域 >



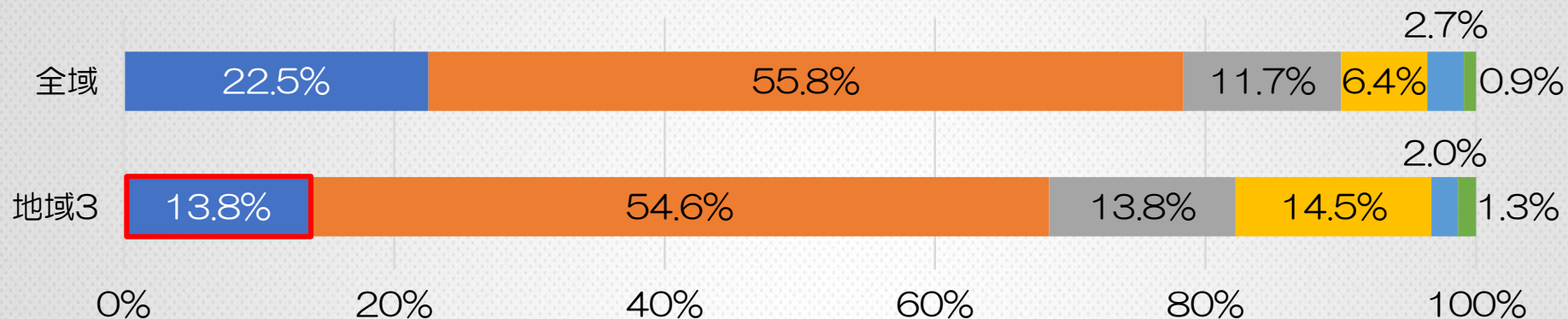
< 地域3 >



町内全域と比較して、大きな差はみられない



町の中心市街地（基山駅周辺）の在り方について

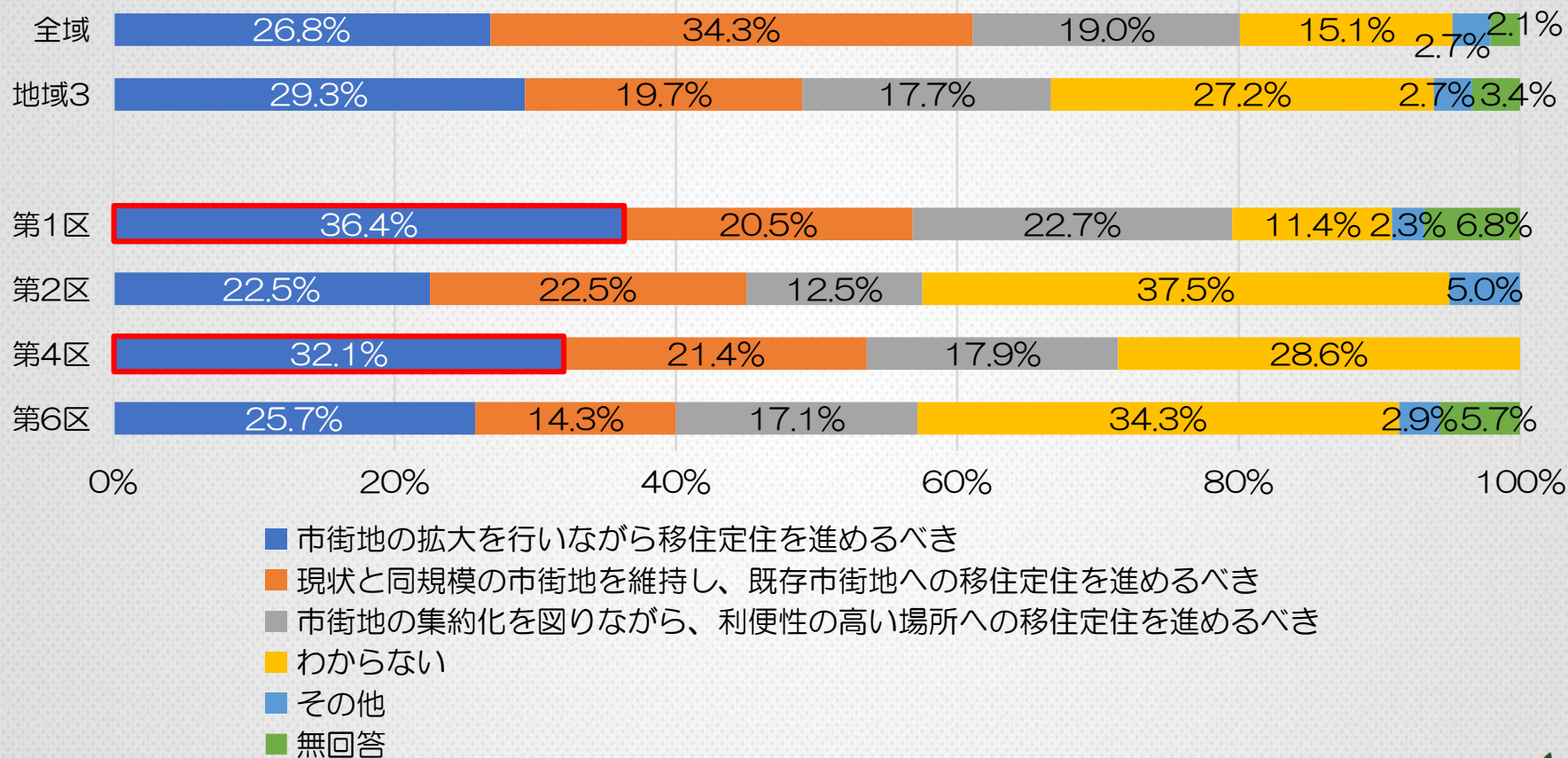


- 周辺市町から多くの人が集まるような施設の誘導を進めるべき
- 基山町民が利用できるような施設の誘導を進めるべき
- 現状の施設維持を目指すべき
- わからない
- その他
- 無回答

町内全域と比較して、周辺市町から
人が集まるような施設を望む声が少ない



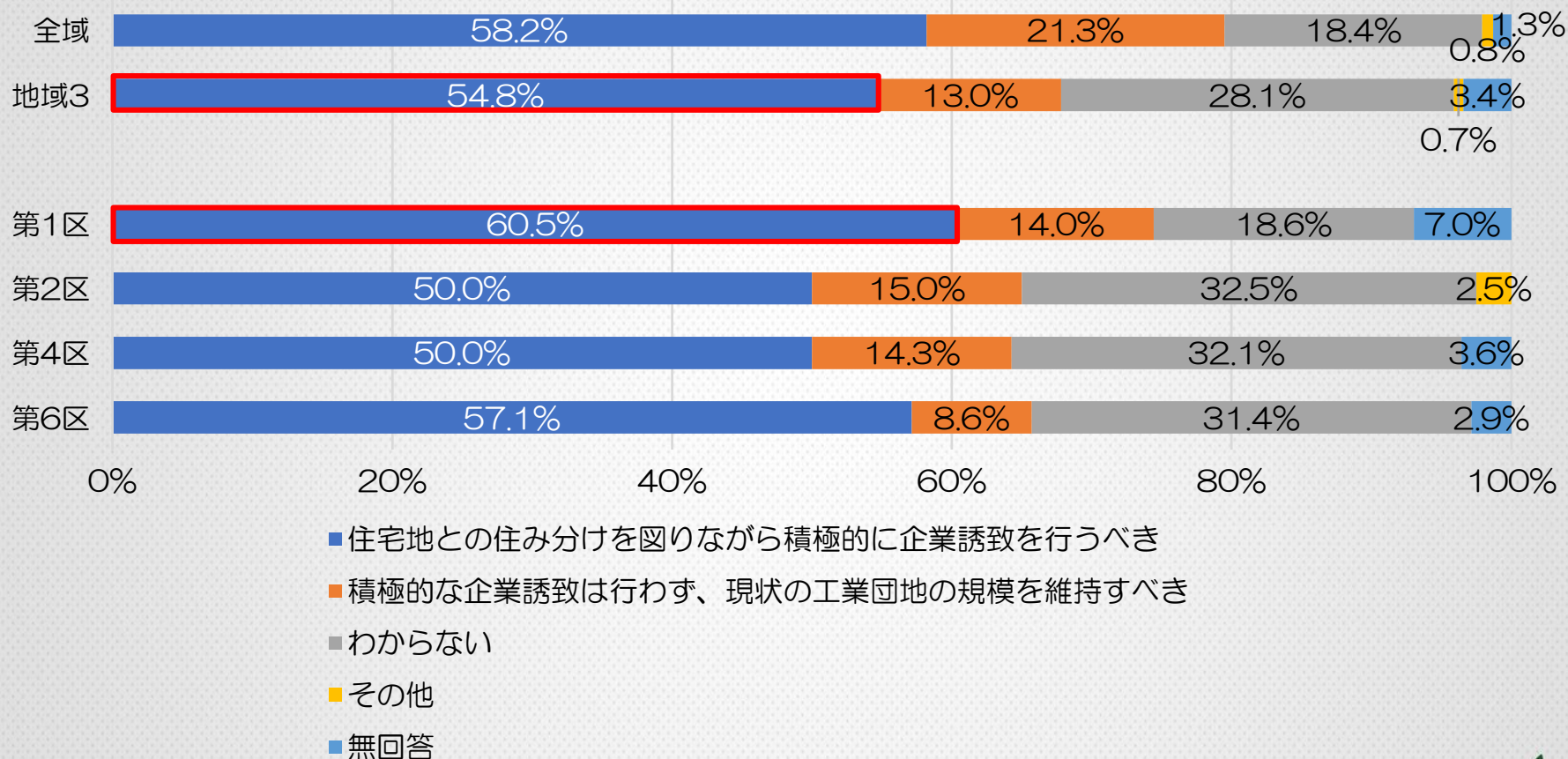
今後の住環境整備の方向性



第1区と第4区では、全域と比べて市街地拡大による移住定住の推進を求める意見が多い



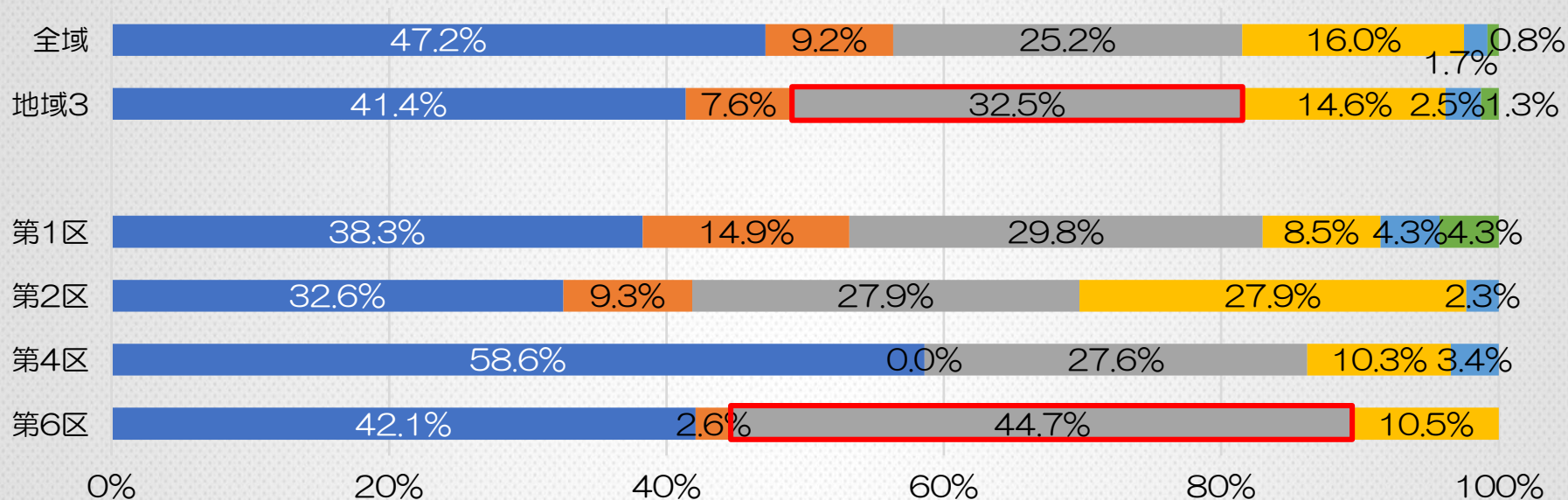
今後の工業環境整備の方向性



地域としては企業誘致を推進する回答がやや少ない一方
第1区では積極的な企業誘致を望む回答が多い（他の区に
おいては町域全域より低い）



今後の農業環境整備の方向性

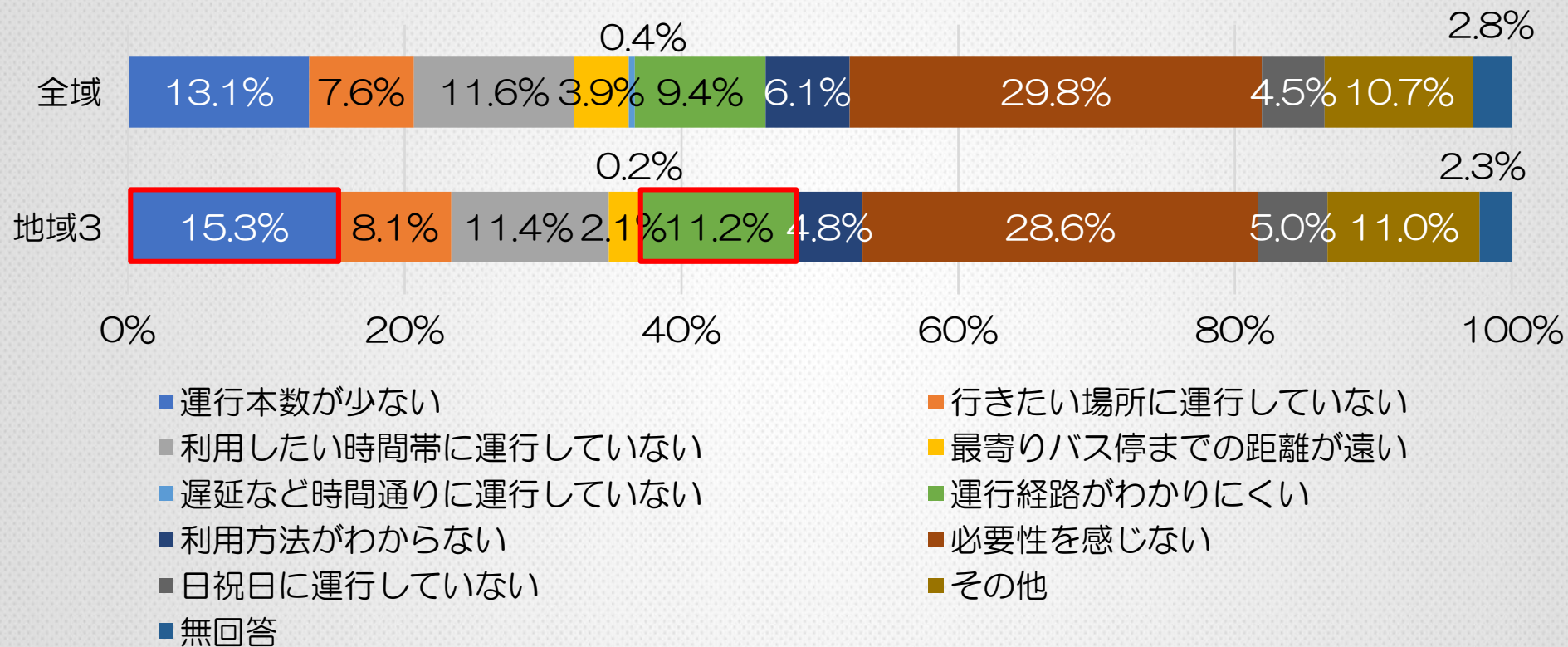


- 積極的に新たな担い手を呼び込み、農業の活性化を目指すべき
- 新たな担い手の受け入れは行わず、今住んでいる農業従事者及び後継者で農業振興を目指すべき
- 後継者のいない農地については、産業用地・宅地への転用を図るべき
- わからない
- その他
- 無回答

全域と比べて農地の産業用地への転用を望む意見が多い
特に第6区では数値が顕著である



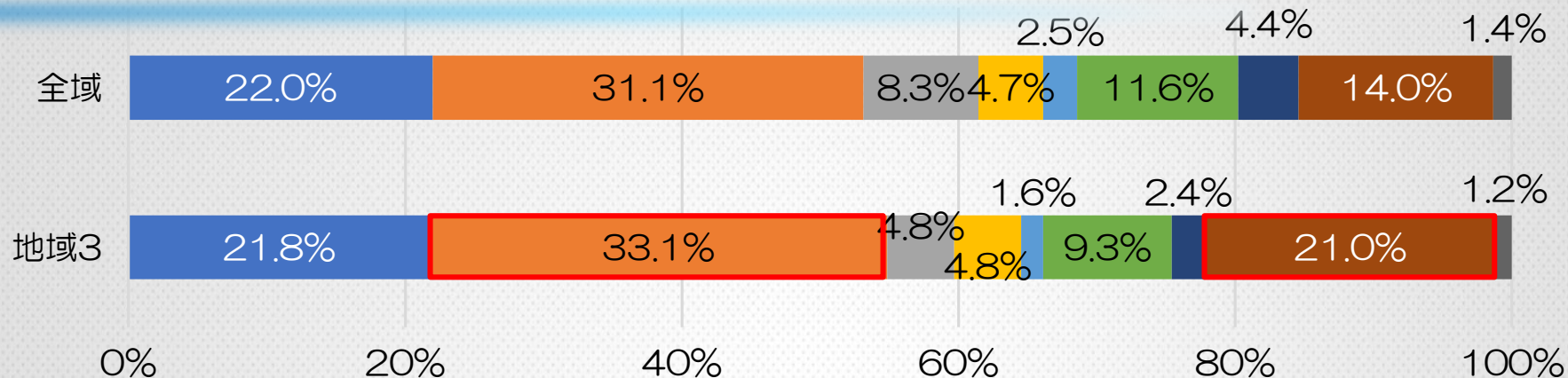
コミュニティバスを利用しない理由について



町域全域と比較すると、「運行本数が少ない」「運行経路がわかりにくい」といった回答が若干多い



将来、基山町がどのような町になっていると良いか



- 文化施設・教育環境が揃い、安心して子育てできる「子育ての町」
- 医療・福祉についての環境が揃い、お年寄りも健康に暮らせる「医療・福祉の町」
- 公園やきれいな住宅が整備された「住宅の町」
- 町の歴史や観光資源を活かし、多くの人を訪れる「観光の町」
- 公害の少ない工場が立ち並び、産業が発展する「工業の町」
- 便利な機能が駅前に全て揃い、買い物が便利な「商業の町」
- スポーツイベント等を通じてみんなが健康に暮らせる「健康の町」
- 豊かな自然や農業が守られた「自然の町」
- その他

町域全域と比較すると、「自然の町」が特に多いほか「医療・福祉の町」が若干多い



意見交換のテーマについて

下記のテーマについて

- 良いと思う点
- 悪いと思う点

(どのようにすれば解決できるかを含めて)
について意見交換をお願いします。

話す際は具体的な場所
の提示をお願いします

【意見交換のテーマ】

① 土地利用のあり方について

(農地・森林の保全、農地から宅地・産業用地への転用)
(道路・公園、河川のあり方)



アンケート調査で出た意見

- ☞ 市街地と自然豊かなエリアを分けたまちづくり
- ☞ 市街地活性化と併せて山間地の活性化を
- ☞ 使われていない土地の有効活用による定住促進
- ☞ 農業が身近に見えて自然が感じられるまちづくり
- ☞ 野焼きをやめてほしい
- ☞ 自然、農業、林業といったこれまで基山を支えてきた生業を大切に

